日本クリスチャン・アシュラム連盟　夏季号

開心
静聴
充満
献身
奉仕

日本アシュラム

Summer 1981　United Christian Ashrams of Japan　36

黙想

『イエスは主である』

海老沢　宣道

アシュラムはキリスト教信仰の根本を徹底的に体験しようとする道の一つである。『イエスは主である』という告白はペテロを初めとして初代教徒が日々に讃美し、生活に実践したものである。従ってこの告白は単なる呪文の如く誦えるものではない。『私に向い主よ、主よと言う者が皆天国に入るのではない。父の御心を行う者が入るのだ』との主イエスの御言を想起すべきである。

パウロはピリピ書二章にキリストが天における神性を捨て自己を無にして罪人の僕となられ、贖罪の犠牲となるまで従順に謙遜の極に達せられたことを述べたあと、それ故に神は彼を高く引上げ、全ての名にまさる名を賜った。それはイエスの御名により全ての者が『イエスは主である』と告白し栄光を神に帰するためであると書いている。

この主という名（キュリオス）の原意は主人、所有主から支配者、神と発展した語で、ギリシャ語で最高の神聖な称号となっていた。聖書はそれを使徒たちがイエスに与えただけでなく、神御自身が彼に賜ったと断言している。皇帝を神として崇拝させようとしていた当時、『イエスは神の栄光を啓示されたキュリオスである。』と言った初代教徒が迫害を受けたのはそのためである。

現代のわれらにとってもイエスが主であることは、まず復活の信仰による。死んだ人を主とは呼べないからである。イエスが生きておられることを体験したので初代の弟子達は、彼を主と呼んだのである。私たちもイエスを真実に主と仰ぐのは、彼がわれらの生活の中に活ける実在として知られたときである。

次に、初代教徒がイエスを主と仰ぐ理由は、彼によって神の贖罪愛を経験したからである。これは復活が信じられたと同時に、神の赦しが生活の中で確認されるからである。この二つは一つの経験である。故に教会はイエスに最高の称号を贈ったのであった。言が肉体をとってわれらのうちに宿られた、人となられた神にして初めて救いを完成されたからである。イエスの神性を否定すると救いの力は来なくなり、人性を否定すると聖書は単なる神話伝説になる。イエスは真の人間であり真の神である。これは信仰の奥義である。

イエスによってのみ、神の実在とその贖罪愛を確認することができるからである。それが彼によって神の救いの恵みを経験した者が、イエスのみを主と呼び奉る理由である。

更にイエスは命の主、教会の頭であり、信仰と生活との最高の権威である。パウロはコリント第二書四章に『この世の神がキリストの栄光を見えなくしているが、私たちは自分自身ではなく、主なるイエスを宣べ伝える』と述べている。今日の教会で盛んなことは牧師や役員の自己主張である。これはイエスの主権を否定する態度である。改めないなら神の審判は必ず決るだろう。自分ではなくともイエスよりも教会の制度とか、信条とかを絶対視するのも主を否むことになる。英国教会のテムプル大主教は『いかなる信条も信じない。しかし信条の内容を信じる』と言った。同様に聖書を最高の権威と見るのも正しくない。聖書が証しするイエスが主である。教会を最後的権威と見るのも正しくない。教会はキリストの体で、イエスが教会の主である。かくて私たちは凡ゆる意味において主イエスの僕、奴隷である。主の御言に絶対服従して、『私たちは主の御のために働くあなたがたの僕にすぎない』と言おう。主が望まれるのは単なる称号でなく、仕える者である。

定価 一部 50円 〒50円

二五周年記念メッセージ（第三回）

二つの大切な戒め

日本アシュラムの二十五周年記念に参加を許され、再びあの美しい富士山の下で、主に在る兄姉との交わりを与えられたことを感謝します。この多くの参加者の中に牧師が沢山来ておられることを知り、御喜び申し上げます。インドのアシュラムは五〇年も続いていますが、こんなに多くの教職が参加したことはありません。

昨日は「神の国」についてお話をし、それは神と私たちとの正しい関係にあることを見ました。しかしそれは真理の前半であって、後半にはお互い人間との正しい平和的な幸福な関係があることを見逃すことはできません。マタイ福音書二二章三七―に主イエスはこれら二つの関係を正しく持つ方法について教えられ、これら二つの戒めは一つであると言われました。

人間には四種あります。第一は神とは深く交わるが、人とは正しくない人。第二は人とはよく交わるが、神とは関係のない人。第三は神とも人とも正しい関係を持たない人。第四は神とも人とも正しい交わりを持つ人です。神はこの第四の関係を私たちに期待しておられるのです。つまり神の国はそのような関係の中にあるのです。

人がもし神に捧げ物をする時、誰かと仲違いをしていることを思い出したら、まずその兄弟と和解してきて礼拝を守りなさいと、主イエスが教えられたことを思い出します。主の祈り中では「われらに罪を犯す者を、われらのゆるしたる如く、われらの罪をもゆるし給え」と祈らされます。主は「もし兄弟の罪をゆるさないなら、あなたの罪もゆるされない」と言われました。ヤコブ書五章には、「だから互に罪を告白し合い、医されるように祈りなさい」とあります。今日社会の病気の多くは精神的原因、つまり罪がお互いの間でゆるされないまま、問題として残っていることにあると言われます。だからその原因を取除くと直ちに医されることがあるのです。

今日は批判精神が強くなっていますが、詩人タゴールが言ったように、『社会の大問題はお互いが論争することである。これ以上の大問題はない』のです。インドの教会で人々は、あれは良くない、これは悪い、と批判し合い、悪口や蔭口を叩いています。ある教会の婦人は隣り合せに住んでいて、市場でもよく出会います。ある日一人が窓からふと他の一人が階段から庭にころげ落ちるのを見ました。日中から酒を飲んで転んだのでないかと人々に告げ口をしました。その後暫らくたって二人が市場で出会い『長い間お互に会いませんでしたね』と挨拶すると『実は私は風呂場で倒れて足を挫いてからよく歩けなかったのです』と言われ、酒のせいでないことを知った婦人は、申訳けないことをしたと思い、牧師にどうしたらよいかと相談しました。牧師は羽枕を持出してその端を切り、羽を部屋中に散らばせ『これを拾ってもとの枕に入れてごらん』と言われ、彼女は集めようとしたが、一つ取ると他のがパッと飛び散り、遂に牧師に『できません』と言いました。牧師は『あなたの立てた噂はこれと同じように消して廻る事はできない。が唯一つできる事がある。相手の家に行き、心から謝罪して赦してもらうことだ』と教えました。

不正直がこの世の人間関係を悪くさせています。教会にも仮病やその他の理由を作ったりして出席しない人があります。商取引にも多くの不正直が行われています。神の国に属する者は互いに正しい関係を持つべきです。黙示録には世の終に天国で多くの信仰者の楽しい交わりがあると書いてあります。もし地上で平和な関係を持たないなら、天国で持てるでしょうか。

私は過日聖書の中に『お互いに』という文字が非常に多くあることに気づきました。聖書は私たちの交わりを高調しています。互に仕えよ。互に重荷を負え。互に気を配れ。互に相愛せよ。互に告白し、赦し合え。祈り合え。語り合え。互に従順であれ、など枚挙にいとまがないほどです。パウロ、ヤコブ、ペテロ、ヨハネなどの使徒書の終章には殆ど全てに信仰の友から友への挨拶の言葉があり、人間関係の在り方を示しています。ピレモン書はパウロの所へ逃

（ロマ書十章九節）

アシュラムの五大原則
（一）キリストへの明渡し
（二）御言への静聴と立証

好評

海老沢宣道著

アシュラムの原則と実際

定価300円　〒60円

アシュラムの創始者・故スタンレー・ジョーンズ博士の直伝を受けた著者が，平易に解説し今回小冊子にまとめられた。参考書として活用されたい。

日本アシュラム編集部
177 東京都練馬区三原台1-18-1 海老沢方

げてきて入信した奴隷オネシモを元の主人ピレモンの所へ、主の僕として受入れるように、『もし彼が主人の物を盗んでいたら、私が弁償しよう』と心情を吐露した手紙を添文として持ち帰らせたものであります。伝説によれば、オネシモはピレモンの赦しを受け、自由人としてアフリカ伝道に赴いたとの事です。

正しい人間関係を持つことの大切さが判るでしょう。アシュラムはそれを体験するものであり、人々に示して救の喜びを共にするものです。私も新生してから昔学校から借りた本代を送金したり、ある実業家から借金していた金を返送したりしました。ある女生徒は校長にだきついて泣き、『私はいつも行儀の悪い子でした。許して下さい』と謝罪しました。ある青年牧師は、エジプトに伝道中、神学生の頃に試験でカンニングしたことを思出し、牧師の資格がないから辞任したいと、大司教に手紙を書きました。クリスチャンは神とも人とも正しい関係に生きる者です。アシュラムはこの二つの関係を正しく守らせるものです。神の多くの祝福がまだ私たちに十分に受けとめられていないとすれば、お互の関係がまだ正しくないからです。それを正しくして祝福にあづかる者となろうではありませんか。では今から主の御前に静まって、深くお互いの内面を探っていただきましょう。

アシュラム発祥の地
サト・タルを訪ねて(三)

海老沢　宣道

十月十一日の朝六時に起床して昨日と同じ岡の上のチャペルに集まる。七時から静聴の時をタイタス師の司会で、使徒行伝二章から主の御声を聴き、互に恵みを分ち合った。数名の祈りで終り、靴をはいて二列に並び、アシュラム行進歌をうたいつゝ食堂に向う。

朝食後、労作の時の初めにパロ王（ハーター兄弟）がモーセと寸劇を演じ、王が飲もうとしたコップの水を神が赤く変えた場面に拍手が起る。力持ちは切倒した大木を薪に割る労働を、力弱い人は森の中から薪を集めたり、各自の寝室の掃除をした。

九時半から聖書研究でアーマド・シャー博士（九二才）が講演、ヒンヅー、イスラム、シーク、仏教などの本質にふれ、コロサイ書二章八節以下により、世の霊力にとらわれず神の徳が充満しているキリストにあって満たされるよう勧められた。

十時四五分、福音の時、南インドから来たヨセフ・ランス兄弟がピリピ書二章につき主イエスの御名を崇めよと勧められ、国別の祈りの細胞に分れて祈る。日本人七名が日本語で祈る中にバーグ師が入られた。

中食後にファミリーミーティングをマシウズ師司会。続いてサトタルアシュラム委員会が本館別室であり、

二時半、教会活動の時、日本アシュラムの沿革とジョーンズ博士の貢献について、海老沢が英語で約三十分話し質問に答えた。その前後に日本アシュラムの歌（英訳）を全員で唱和して貰った。

三時半、お茶の後、国際委員会を別室で開き、第五回を一九八二年七月にフィンランドのヘルシンキ近郊で開催の件、ワグナー兄弟が総務を辞任、ローレンス・リケンズ兄弟が引受けるが、日本の大石兄弟にも国際の幹事として連絡を促進するために協力して貰うことなどを協議。

松林の中を散策して、五時から別の湖畔でマシラマニ兄弟の司会により夕陽会を守り祈る。夕食後は食堂でさんびの時と寸劇『神の国』が有志により演ぜられ、町のならず者がジョーンズ博士により悔改める話を興味深く観賞。晩禱のあと、ワグナー師がスライド映写（世界各地のアシュラム）を紹介された。夜の沈黙の時が来て各自の宿舎に帰る。

D・P・タイタン著
英文『神の国を来らせ給え』
B6判本文二四頁　価百円〒別
申込先　日本アシュラム連盟総務局

各地からのニュース

◇**東京城西アシュラム（5回）**
九月二三日（秋分）朝九時半受付
大宮前教会（杉並区宮前二）にて
右教会の他、高円寺、東小金井、成瀬南の諸教会共催して開く。
主題『イエスは主である』
奉仕者・満丸、神山、渕江、島、草村、植村の諸師。
会費　千円。
申込・九月六日迄に大宮前教会へ

◇**関東地区アシュラム（十九回）**
十月八日（木）～十日（土）正午
湯河原厚生年金会館にて
主題『全うされる愛』定員百名
奉仕者・岡田、アーマドシャー、白川鄭二、満丸、横山、松田、寺井の諸師。
会費　宿泊費　一二、五〇〇円
申込金千円
申込・九月十五日迄に新宿西教会内アシュラム委員会へ。
全期間出席を原則とする。

◇**四国地区アシュラム（十五回）**
十月十二、三日（火）一泊二日
松山済美会館（二番町三―五）
講師・インドの宗教学者アーマドシャー博士、他委員

（ピリピ書　第二章　十一節）
（三）聖霊の啓導と充満
（四）神の国の体験と献身
（五）教会への奉仕と伝道

申込・済美会館内宇都宮充師まで十月一日迄にハガキで

◇**九州地区アシュラム（十四回）**
十月十九、二十日（火）一泊二日
福岡女学院八木山研修所にて
奉仕者・大石嗣郎師、他。委員
申込・福岡市西区野芥八六四―四田隈バプテスト教会内
委員長　川野直人師へ
十月十二日までに。

◇**札幌アシュラム（第二回）**
十一月二二（日）午後―二三（火）まで一泊二日。
真駒内青少年センターにて
主題『イエスは主である』
奉仕者・海老沢宣道師、他委員
申込・札幌市中央区南二一条西十四、札幌バプテスト教会内
委員長、加藤亨師まで。

◇**関西地区アシュラム（十五回）**
十一月二二（日）午後―二三（火）まで一泊二日。
千里山シオンロッジにて
奉仕者・中路、辻中、後宮、清水、中島、土山、他委員。
申込・扇町教会（大阪市北区神山町九）辻中昭一師宛。

◇**東京城北アシュラム（十三回）**
八二年二月十一日（木）一日
新宿西教会（新宿区歌舞伎町二）右会場の他、東京中央、天門、更生、池ノ上、江古田の諸教会共催
主題・未定。
奉仕者・岡田、海老沢、有馬、島、松田、神山、松原の諸師
準備祈禱会、九月、東京中央、十一月、天門、一月、新宿にて
申込・新宿西教会有馬歳弘師まで

◇その他の各地でも計画中、次号に予告します。

▽**連盟総務部報告**
一月二六日（月）と六月十二日（金）と二回共山根理事宅で開き、海老沢、大石、渕江、中路（一月のみ）出席。横山、鈴木両理事は欠席。
一、二五周年記念特別会計報告
二、連盟通常会計中間報告（承認）
三、インドのアーマドシャー師の旅費自弁で来訪希望を受諾する。
四、理事推薦の件
川野直人師（九州委員長改選）
岡田　実師（関東委員長改選）
辻中昭一郎（関西実行委員長）
井本富三郎兄（故菅沼兄補欠）
五、ジョーンズ博士遺著『神の然り』の翻訳（海老沢）出版契約をアビンドン社と、遺族の好意により無償にて結ぶ。
六、各地区分担金と個人賛助金を連盟あて納入方依頼すること。
七、第五回国際アシュラムが明八二年七月十五～八日フィンランド国ヤルフェンペア市で開かれ、日本から十名参加を予定する。

日本クリスチャンアシュラム連盟理事名簿

理事長　海老沢宣道（日基江古田）
副理事長　中路　嶋雄（〃扇町）
総務　大石　嗣郎（〃碑文谷）
書記　横山　義孝（〃西川口）
〃　内村サムエル（アセンブリー）
財務　鈴木　留蔵（聖協団）
〃　林　勝義（ナザレン）
常任　山根　可弐（単立池上）
〃　後宮　俊夫（日基世光）
〃　渕江　淳一（カンバランド）（東小金井）
（地区委員長・理事）
道南　白川　鄭二（日基函館）
東北　村上　東（〃郡山）
関東　岡田　実（〃新宿西）
中部　内村サムエル（前出）
関西　辻中　昭一（〃）
中国　谷本　清（広島流川）
四国　宇都宮　充（単立愛媛）
九州　川野　直人（バプ田隈）
（友交グループ）
札幌　加藤　亨（バプ札幌）
新潟　酒井　容雄（日基栃尾）

◇連盟賛助の祈り

（前回報告（35号）以降の献金）
皆藤　晃代（二五年感謝）二千円
山根　可弐（東京）一万円
川野　直人（九州）一万円
池の上教会（東京）十万円
井本　商店（広告献金）二万円
小計　一四二、〇〇〇円
累計　二四〇、〇〇〇円

染色材料とデザインの本

有限会社・井本商店
取締役社長　井本　富三郎

本店　〒160　東京都新宿区高田馬場2－2－14
電話　209－0065・0667
駅前店　〒160　東京都新宿区高田馬場2－17－4
電話　200－7286

早稲田朝禱会　●毎金曜日　朝7時
高田馬場駅南口・早稲田学院アプローチ教室

▼アシュラムとは故スタンレ　ョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリス　載の新しい祈禱生活のことである。

東京都目黒区中央町1-21-10
碑文谷教会気付
日本クリスチャン・アシュラム連盟
振替口座東京〇－四五五八番